

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】令和6年10月25日(2024.10.25)

【公開番号】特開2024-86870(P2024-86870A)

【公開日】令和6年6月28日(2024.6.28)

【年通号数】公開公報(特許)2024-120

【出願番号】特願2024-63938(P2024-63938)

【国際特許分類】

A 61K 35/17(2015.01)

10

A 61K 38/17(2006.01)

A 61K 39/395(2006.01)

A 61P 25/28(2006.01)

A 61P 25/16(2006.01)

A 61P 37/06(2006.01)

C 07K 19/00(2006.01)

C 12N 5/10(2006.01)

C 12N 15/09(2006.01)

【F I】

A 61K 35/17

20

A 61K 38/17

A 61K 39/395 N

A 61P 25/28

A 61P 25/16

A 61P 37/06

Z N A

C 07K 19/00

C 12N 5/10

C 12N 15/09 Z

【手続補正書】

30

【提出日】令和6年10月17日(2024.10.17)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

複数の操作された制御性T細胞(Treg)を含む組成物であって、

前記複数の操作されたTregの前記操作されたTregが、CD4+CD127-CD25+FOXP3+細胞であり、 40

前記複数の操作されたTregの各操作されたTregが、グリア細胞マーカーに特異的に結合するキメラ抗原受容体(CAR)を発現し、

前記CARが、配列番号12に存在する6つのCDRを含む単鎖可変フラグメント(sCFv)を含み、前記6つのCDRがKabatにより定義されるCDRである、組成物。

【請求項2】

前記6つのCDRが、

(a) SYAMS(CDR-H1);

(b) SISTSGSYTAYADSVKG(CDR-H2);

50

- (c) G G Y T F D Y (CDR - H 3);
 (d) R A S Q S I S S Y L N (CDR - L 1);
 (e) S A S T L Q S (CDR - L 2); および
 (f) Q Q S D G N P T T (CDR - L 3)

であり、前記組成物が薬学的組成物である、請求項1に記載の組成物。

【請求項3】

前記scFvが、配列番号12に対して少なくとも99%の配列同一性を有する、請求項2に記載の組成物。

【請求項4】

前記scFvが、前記グリア細胞マーカーであるミエリン・希突起膠細胞タンパク質(MOG)に特異的に結合することができる、請求項3に記載の組成物。 10

【請求項5】

前記CARが、前記操作されたTregを、MOGを発現するグリア標的細胞へと方向付けることができる、請求項4に記載の組成物。

【請求項6】

複数の操作された制御性T細胞(Treg)を含む組成物であって、

前記複数の操作されたTregの前記操作されたTregが、CD4+CD127-CD25+FOXP3+細胞であり、

前記複数の操作されたTregの各操作されたTregが、グリア細胞マーカーに特異的に結合するキメラ抗原受容体(CAR)を発現し、

前記CARが、配列番号6に存在する6つのCDRを含む単鎖可変フラグメント(scFv)を含み、前記6つのCDRがKabatにより定義されるCDRである、組成物。 20

【請求項7】

前記6つのCDRが、

- (a) S Y A M S (CDR - H 1);
 (b) T I S T Y G D Y T T Y A D S V K G (CDR - H 2);
 (c) G S Y T F D Y (CDR - H 3);
 (d) R A S Q S I S S Y L N (CDR - L 1);
 (e) S A S Y L Q S (CDR - L 2); および
 (f) Q Q S N A T P S T (CDR - L 3)

であり、前記組成物が薬学的組成物である、請求項6に記載の組成物。

【請求項8】

前記scFvが、配列番号6に対して少なくとも99%の配列同一性を有する、請求項7に記載の組成物。

【請求項9】

前記scFvが、前記グリア細胞マーカーであるミエリン・希突起膠細胞タンパク質(MOG)に特異的に結合することができる、請求項8に記載の組成物。

【請求項10】

前記CARが、前記操作されたTregを、MOGを発現するグリア標的細胞へと方向付けることができる、請求項9に記載の組成物。 40